

# 情報化推進室 経営計画書（総括表）

## ■事務事業の総括

No.	事務事業名	様式 区分	H29 度計画額（単位：千円）		H29 年度必要人工	
			計画額	内特定財源	職 員	臨時職員
1	情報化推進事業	B	/	/	0.8	
合 計					0.8	

## ■特記事項

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	情報化推進室	No.	
事業名	情報化推進事業		
総合計画の体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本施策		行政経営、広報・広聴
目的	大口町が保有する情報の電子化を推進していくことにより、職員、町民間で効率的に情報を共有できるようにし、協働と参画のまちづくりの基礎とする。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の電子化を推進する目的に、情報を保有する所管課との連携、調整、助言</li> <li>・電子機器有効活用の指導、助言</li> <li>・行政事務電子化推進を目的に、行政課電算グループとの連携</li> <li>・情報発信を目的に、秘書広報課との連携</li> </ul>		
現在における経過又は課題	<p>基幹システム及び情報系システムの安定稼働は、行政課と連携し順調に推移。情報系システムについては、強靱化計画が完了し、行政課と連携しながら、セキュリティの確保と事務の効率化の両立を目指すべく検討。基幹系についてはシステムの更新時期が30年度となるため準備の必要がある。</p> <p>公式ホームページの運用について、アクセシビリティに配慮し、より多くの情報を発信するよう秘書広報課と連携。</p> <p>26年度より運用開始した公開型地図情報システム「大口町暮らしマップ」は、新たなコンテンツも追加され、概ね順調であるが、まだまだ公開できるコンテンツは多数あると思われるので、引き続き担当課に働きかけていく必要がある。</p> <p>USTREAM や YOUTUBE といった動画配信システムを活用し、安価に「五条川ライブ」やイベント中継等といった情報をWEB発信。</p> <p>SNS である Facebook の公式ページの活用を進めていく必要がある。</p>		
平成29年度の目標又は改善策	<p>基幹及び情報系のセキュリティシステムを活用して、情報の適切な利用がなされているか、また、職員の不正アクセスが無い監視強化し、情報漏洩を防ぐ。</p> <p>26年度導入した公開型地図情報システムを活用して、秘書広報課と連携し、各課が持つ地図情報の情報発信を行い、住民との情報共有を進展させる。</p> <p>役場内の行政情報の電子化を進めるため、職員間の電子機器の活用のための学習会等を行政課、政策推進課と連携して実施。</p> <p>基幹、情報系等電子システムのスムーズな運用ができるよう行政課と連携。基幹系については、行政課とともに30年度の機器更新に対する方針を確定する。</p> <p>25年度に導入した文書管理システムの活用を行政課とともに推進し、30年度に機器更新時期を迎えるためシステムの継続を含め検討する。</p> <p>セキュリティポリシーの周知、確実な実施を目指す。</p> <p>ICTにおけるBCPを行政課とともに策定し、非常事態に備える。</p>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
随時	公開型地図情報システムの各レイヤーの追加、修正 アクセス状況のチェック（毎月随時に電算室にて実施） エクセル、ワードの職員間学習会の実施及び個別対応 ホームページのアクセシビリティチェック 電子システムの不具合対応 USTREAM や YOUTUBE へのコンテンツ作成支援 Facebook 等の SNS による情報発信の支援

## □3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	・ ・
H31 年度	・ ・

## ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円			
(内特定財源)		千円			
人工	職員	人工			
	臨時職員	人工			
	計	人工			

## ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

## ■特記事項

--

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

○情報系システムの強靱化対策の実施に関し、当初の導入結果、県クラウド及びスムーズファイルを利用した無害化は職員の手間が大幅に増大。事務の効率化に逆行するとともに、無害化せずに情報系にデータが入り込む危険性もあり、行政課とともに独自の無害化システムを追加導入。

○基幹系システムの更新については、従来のGコアーズで更新することとし、29年度中に事業着手。認証システムを生体認証に変更しセキュリティの向上を目指した。また、NLPによる自庁処理廃止を目指し単票印刷ができるよう更新に合わせて改修することとし、さらなるコスト削減を目指した。

## ■ 評価

○五条川ライブ配信は年度末で概ね通算 25,000 件超えのアクセスを実現している。1年間で1万件以上のアクセス増。ユーチューブによる「大口町いきいき 100 歳体操」は 70,000 件超えの視聴回数となっており、大口町からの情報発信は着実に成果として表れてきている。

○基幹系、情報系システムともに事務の効率化に寄与し、経費は増大しているが経費に見合った以上のセキュリティ対策が実現できていると考える。

○基幹系、情報系システム対策を優先しているため、情報公開、情報共有さらにはペーパーレス化の要となる文書システムの活用、検討が不十分の結果となっている。